


事業番号	10 02 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	S33 ~	E-mail	ringvo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	1. 労働生産性 2. 県民一人当たり家計可処分所得 6. 就業率				
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		
	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ・森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのため、課題解決に向けた試験・研究や教育の充実を図り、健全な森林の育成や関連産業の効率的発展を目指す ・林業大学校卒業生における、林業・木材産業関係分野への就業者の継続的な確保 ・林業総合センターの試験・研究の促進 【これまでの取組】 林業大学校や林業総合センターによる知識の教示や試験研究、普及指導員等による地域の林業事業者等の指導など	
	令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	課 題 ・林業大学校においては、質の高い人材の育成を図るとともに、林業分野を目指す学生の確保を図るために、学校の魅力を高めていくことが必要である。 ・長野県の強みであるカラマツ大径材とマツタケを活かした産業や山村の活性化に貢献するための試験研究・開発が必要である。

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	✓ 林業大学校における次代の担い手の育成 ・令和3年度に男子寮棟が竣工することに伴い、旧男子寮棟を除却し、外構工事及び渡り廊下を建築して、学生が安心して知識・技術の習得ができる環境を整備 ・適正な学校運営	
	林業大学校男子寮完成予想図	

指標の状況及び目標値 [✓:改善、\:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末	R3年度目標値		R1年度	R2年度	R3年度	
1	林業大学校卒業生で就業した者の林業関係分野への就業率	78.0%	70.0%	↓ 80.0%	↑ 80.0%	事業コスト	前年度繰越	0	0	472,716
2	林業総合センターの研究成果の発表件数	124件	95件	↓ 80件	↓ 80件		当初予算	117,281	628,646	231,540
3	体験学習の森の講座定員充足率	92.0%	85.6%	↓ 90.0%	↑ 85.0%		補正予算	-26,982	-28,173	56,626
4	林業大学校卒業生のうち県外出身者の県内就業率	57.1%	50.0%	↓ 50.0%	→ 60.0%		合計(A)	90,299	600,473	760,882
5							うち一般財源	66,306	563,005	675,493
							決算額(B)	86,688	416,916	
							職員数(人)	86.9	86.9	85.9
成果指標設定理由	1 林業大学校の学生が林業の担い手として、その知識等が活かせるための指標（過去の実績を基に設定） 2 林業総合センターの研究・試験成果を広く周知し活かすための指標（過去の実績を基に設定） 3 県民参加の森林林業講座の中身の充実を図るための指標（過去の実績を基に設定） 4 林業大学校の県外出身卒業生が、県内で林業の担い手として、その知識が活かせるための指標（過去の実績を基に設定）									

事業番号 10 02 01 事業改善シート（令和3年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	------------------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		当初予算	126, 169				
		補正予算					
		56, 626					
		計	38, 739	計	545, 540	計	182, 795
		千円		千円		千円	

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	林業大学校費	直接	林業の担い手確保のため、高性能林業機械やタブレット端末といった先端技術を導入した専門的、体系的な授業の実施
2	林業大学校教育環境整備事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した学生寮を改築し、学生が安心して学業に専念できる環境を整備 ・旧学生寮を除却し、外構工事及び渡り廊下を建築 ・ゼロカーボン社会実現のため、熱源には木質バイオマスボイラーを導入

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		当初予算	105, 371				
		補正予算					
		0					
		計	51, 560	計	54, 933	計	105, 371
		千円		千円		千円	

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	林業改良普及事業	直接	森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、各種研修、指導及び情報発信を行う
2	林業総合センター管理費	直接	林業総合センター施設の管理運営業務
2	林業総合センター試験研究普及費	直接	森林・林業に係る多様な課題解決のために、技術開発・試験研究を行う
3	林業総合センター体験学習の森事業費	直接	森林・林業に関する県民への普及啓発のため、公開講座開催や展示資料の充実を図る